

高浜再稼働は慎重に

住民団体 県と町へ要請書

関西電力高浜原発3、4号機の再稼働を巡り、原発住民運動福井・嶺南センターなど三団体が十二日、県と高浜町に慎重な審議と住民説明会の開催を求める要請書を提出した。

同センター代表委員の渡辺孝さん（六八）ら八人が県庁を訪れ、県原子力安全対策課の職員と面談。クレーン倒壊事故を受けて関電が実施した安全管理の総点検結果を県原子力安全専門委員



県の担当者に要請書を手渡す
渡辺孝代表委員（右）ら。県庁で

会で審議すること、点検結果や安全対策に関する住民説明会を開くよう国と関電に要請することの二点を求めた。

高浜町役場には「ふるさとを守る高浜・おおいの会」の東山幸弘代表（七〇）ら三団体の六人が訪問。対応した町防災安全課の山下泰央課長補佐は、あらためて説明会の開催を求める考えはないとしつつ「クレーン事故などを住民に丁寧の説明するよう関電を指導して

いきたい」と応じた。

（中崎裕、山谷征裕）